

2020年5月8日

FIVB バレーボールネーションズリーグ 2020
中止のお知らせ

国際バレーボール連盟(FIVB)は8日、新型コロナウイルスの影響に鑑み、今年度開催予定だったFIVBバレーボールネーションズリーグ2020を中止すると発表しました。日本開催分として予定していた、男子京都大会(6月5~7日)、男子富山大会(6月12~14日)、女子富山大会(6月16~18日)を、3月13日には延期としましたが、いずれも中止となります。

大会中止に関して、男女日本代表監督のコメントを発表します。

＜中垣内祐一バレーボール男子日本代表監督＞

新型コロナウイルス感染拡大防止に日々活動されている皆様に敬意を表するとともに、影響を受けられている皆様にお見舞い申し上げます。その中でこの大会中止は致し方のないことですが、今季、選手たちに国際試合の経験を積ませることができなくなったことに関しては、非常に残念に感じています。緊急事態宣言が解除され次第、次へ向けた活動を始める予定です。来年を見据えてもう一度基本に立ち返ると同時に、安全に配慮しつつ他国との交流試合や練習試合の可能性も模索したいと思います。世界的にこの事態が一日も早く収束することを祈ると同時に、我々自身も当事者として感染拡大防止に努めてまいります。

＜中田久美バレーボール女子日本代表監督＞

まず、これまで大会の実現に向けて調整を続けてくださった皆様に対して心より感謝を申し上げます。また、大会が中止となることをご迷惑をおかけする全ての方々には、お詫びを申し上げます。

我々チームとしては現在決まっている国際大会がなくなったことで、強化の成果や確認が実際の試合では試せないことになり非常に残念ではありますが、現在の世界状況の中、今だからできることの中に、プラスの部分を見つけて全力で取り組んでいきたいと思っております。

現在、選手たちは各所属チームに戻り、目標を持ち続けて頑張ってくれています。

強化合宿が再開されましたら、改めてワンチームとなり、来たる日に向けてさらに成長を遂げたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。